

## 日清オイリオグループ株式会社 決算補足資料

### 2021年度（2022年3月期）

1. 決算概要
  - 1-1. 2021年度決算
  - 1-2. セグメント別実績
  - 1-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前期比）
  - 1-4. セグメント情報詳細
2. 2022年度業績見通し
  - 2-1. 2022年度業績予想
  - 2-2. 2022年度セグメント別見通し
  - 2-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因 通期見通し（対前期比）
3. 主な指標
  - 3-1. 経営目標
  - 3-2. BS項目
  - 3-3. CF項目

# 1. 決算概要

## 1-1. 2021年度 決算

単位：百万円

	2021年度	2020年度	前期比	
			増減額	増減率
売上高	432,778	336,306	+96,471	+28.7%
海外売上高比率	21.8%	17.5%	+4.3P	—
営業利益	11,670	12,324	△654	△5.3%
売上高営業利益率	2.7%	3.7%	△1.0P	—
経常利益	12,648	13,836	△1,187	△8.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,595	9,244	△649	△7.0%

## 1-2. セグメント別実績

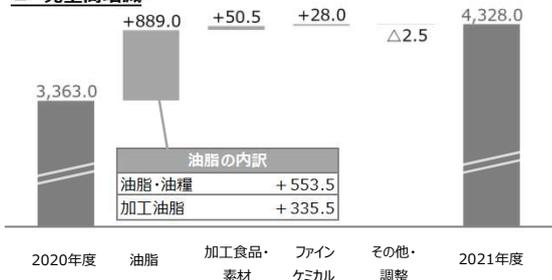
単位：百万円

	2021年度	2020年度	前期比	
			増減額	増減率
売上高	432,778	336,306	+96,471	+28.7%
油脂	355,026	266,132	+88,894	+33.4%
油脂・油糧	267,840	212,514	+55,325	+26.0%
加工油脂	87,186	53,617	+33,568	+62.6%
加工食品・素材	58,185	53,146	+5,038	+9.5%
ファインケミカル	17,003	14,194	+2,808	+19.8%
その他・調整	2,563	2,834	△270	△9.6%
営業利益	11,670	12,324	△654	△5.3%
油脂	8,975	10,419	△1,444	△13.9%
油脂・油糧	4,716	9,548	△4,831	△50.6%
加工油脂	4,258	870	+3,387	+389.3%
加工食品・素材	1,672	1,810	△138	△7.6%
ファインケミカル	1,336	792	+544	+68.7%
その他・調整	△314	△697	+383	—

## 1-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前期比）

単位：億円

### ■ 売上高増減



#### <売上高増減要因>

- 油脂
  - ・原料コスト上昇を受けた油脂販売価格の改定（↑）
  - ・外食需要の持ち直しに伴う業務用製品の販売数量増（↑）
  - ・内食需要が急増した前期と比較し、ホームユース製品における汎用品の販売数量減（↓）
  - ・ミールの販売数量増および販売価格の上昇（↑）
- 加工食品・素材
  - ・チョコレート製品の販売数量増（↑）
  - ・MCT製品の販売数量増（↑）
  - ・大豆素材・食品製品の販売価格の改定および販売数量増（↑）
- ファインケミカル
  - ・化粧品原料の需要回復による国内・海外での販売数量増（↑）

### ■ 営業利益増減



#### <営業利益増減要因>

- 油脂
  - ・油脂・油糧および加工油脂における原料コストの上昇（↓）
  - ・原料コスト上昇を受けた販売価格の改定（↑）
  - ・パーム油取引の時価評価益の増加（↑）
- 加工食品・素材
  - ・チョコレート製品の販売数量増および利益率高い製品の販売増（↑）
  - ・ドレッシング等、調味料における原料コスト上昇（↓）
  - ・MCT等、機能素材・食品製品における原料コスト上昇（↓）
- ファインケミカル
  - ・化粧品原料の需要回復による国内・海外での販売数量増（↑）
  - ・新工場稼働に伴う減価償却費負担増（↓）

1-4. セグメント情報詳細

単位：百万円  
増減額は前期比

油脂（うち油脂・油糧）

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
国内油脂	158,172	+30,485	△5,278	・油脂販売価格の改定、業務用製品の販売増、ミール販売における数量増および価格上昇により増収。 ・原料代高騰等に伴い段階的な販売価格の改定を実現したものの、期中では原価上昇に対する販売価格改定のタイムラグが発生したことから、期間全体の原価上昇分をカバーするに至らず減益。
業務用・加工用	98,027	+27,436		
ホームユース	60,144	+3,049		
ミール	78,271	+23,258		
子会社	72,558	△9,950		
連結調整 他	△41,162	+11,532	+125	
油脂・油糧 計	267,840	+55,325	△4,831	

※業務用・加工用およびホームユースの売上高は、国内油脂売上高の内数

補足：国内油脂に占める付加価値品

売上高構成比	売上高増減額
19%	+300

※収益認識基準の変更による影響額を加味して算出

補足：国内油脂の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
販売数量要因	+3.0	業務用・加工用（+4.5）、ホームユース（△1.5）
販売単価要因	+333.0	業務用・加工用（+264.5）、ホームユース（+68.5）
コスト要因	△391.5	
大豆	△127.0	C&F（△237.0）、為替（△24.0）、ミール販売（+134.0）
菜種	△291.5	C&F（△318.5）、為替（△24.0）、ミール販売（+51.0）
その他商品・製造費	+27.0	期首期末棚卸影響等
販管費・その他	+2.5	
合計	△53.0	

単位：百万円

油脂（うち加工油脂）

増減率・増減額は前期比

	売上高実績	数量増減率	営業利益増減額	コメント
海外加工油脂	87,920	+11%	+3,788	・販売数量増および販売価格の上昇により増収。 ・原料コストの上昇による減収要因があったが、販売数量増、販売単価上昇に加えて、パーム油先物時価評価（前期△6億円、当期+27億円）の影響により増益。
欧州	32,929	+36%		
アジア	50,121	△2%		
その他地域	4,869	+10%		
国内加工油脂	9,936	+1%	△365	需要回復に伴う販売数量増も、売上原価上昇により増収減益
連結調整 他	△10,671	—	△35	
加工油脂 計	87,186	—	+3,387	

補足：海外加工油脂に占めるチョコレート用油脂を中心としたスペシャルティファット

売上高構成比	販売数量増減率
29%	+3%

単位：百万円  
増減額は前期比

加工食品・素材

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
チョコレート	29,884	+1,542	+145	販売数量増および利益率の高い製品の販売増により増収増益
調味料	4,421	+10	△230	ドレッシング等の販売数量増も、原料コストの上昇により増収減益
機能素材・食品	7,014	+184	△183	MCTの販売数量増により増収も、原料コストの上昇により減益
MCT	5,146	+326		
大豆素材・食品	20,072	+1,670	+117	販売価格改定や醸造用大豆粕の販売増により増収増益
連結調整 他	△3,207	+1,630	+13	
加工食品・素材 計	58,185	+5,038	△138	

※MCTの売上高は機能素材・食品売上高の内数

単位：百万円  
増減額は前期比

ファインケミカル

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
ファインケミカル製品	12,540	+3,387	+613	国内・海外における化粧品原料の需要回復を受けた販売数量増および適正価格での販売により増収増益
化粧品原料	8,731	+2,647		
環境・衛生	7,025	+114	△90	販売数量増も、利益率の高い製品の販売減により増収減益
連結調整 他	△2,562	△692	+21	
ファインケミカル 計	17,003	+2,808	+544	

※化粧品原料の売上高はファインケミカル製品売上高の内数

主な換算為替レート（期中平均レート）

	円/USD	円/EUR	円/MYR	円/CNY
2020年度	106.76	121.88	25.43	15.48
2021年度	112.39	130.55	26.52	17.51

## 2. 2022年度業績見通し

### 2-1. 2022年度業績予想

単位：百万円

	2022年度 見通し	2021年度 実績	前期比	
			増減額	増減率
売上高	500,000	432,778	+67,221	+15.5%
営業利益	13,000	11,670	+1,329	+11.4%
経常利益	13,300	12,648	+651	+5.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,200	8,595	+604	+7.0%

### 2-2. 2022年度セグメント別見通し

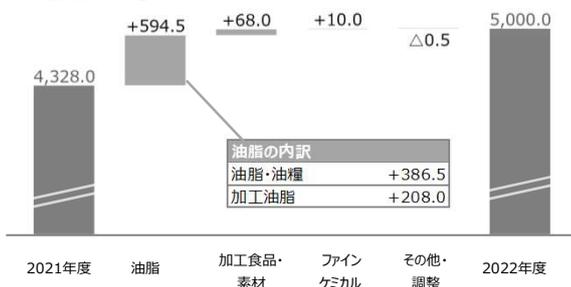
単位：百万円

	2022年度 見通し	2021年度 実績	前期比	
			増減額	増減率
売上高	500,000	432,778	+67,221	+15.5%
油脂	414,500	355,026	+59,473	+16.8%
油脂・油糧	306,500	267,840	+38,659	+14.4%
加工油脂	108,000	87,186	+20,813	+23.9%
加工食品・素材	65,000	58,185	+6,814	+11.7%
ファインケミカル	18,000	17,003	+996	+5.9%
その他・調整	2,500	2,563	△63	△2.5%
営業利益	13,000	11,670	+1,329	+11.4%
油脂	11,050	8,975	+2,074	+23.1%
油脂・油糧	8,400	4,716	+3,683	+78.1%
加工油脂	2,650	4,258	△1,608	△37.8%
加工食品・素材	1,200	1,672	△472	△28.2%
ファインケミカル	1,150	1,336	△186	△14.0%
その他・調整	△400	△314	△85	-

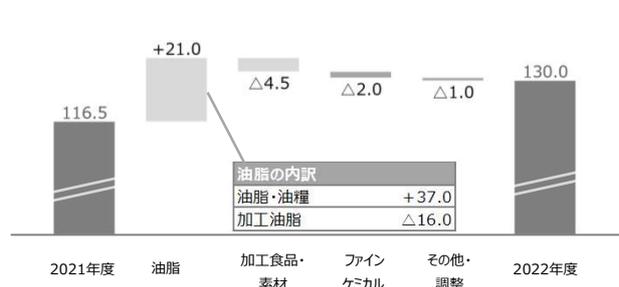
### 2-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因 通期見通し（対前期比）

単位：億円

#### ■ 売上高増減



#### ■ 営業利益増減



#### <売上高増減要因>

- 油脂
  - ・更なる原料コスト上昇を受けた油脂販売価格の改定（↑）
  - ・外食需要の回復に伴う業務用製品の販売数量増（↑）
  - ・ホームユース製品の販売数量増（↑）
  - ・ミールの販売数量増および販売価格の上昇（↑）
- 加工食品・素材
  - ・国内外での新規開拓等によるチョコレート製品の販売数量増（↑）
  - ・調味料、MCT製品の販売数量増（↑）
  - ・連結子会社売却に伴う売上の減少（↓）
- ファインケミカル
  - ・化粧品原料の販売数量増と販売価格の改定（↑）
  - ・衛生製品の販売数量減（↓）

#### <営業利益増減要因>

- 油脂
  - ・更なる原料コスト上昇を受けた油脂販売価格の改定、販売数量増（↑）
  - ・油脂・油糧および加工油脂における更なる原料コストの上昇（↓）
  - ・パーム油取引の時価評価益の減少（↓）
- 加工食品・素材
  - ・チョコレート製品の販売数量増および利益率の高い製品の販売数量増（↑）
  - ・更なる原材料価格高騰に伴うMCT製品における原価上昇（↓）
  - ・更なる大豆価格高騰に伴う大豆関連製品における原価上昇（↓）
  - ・連結子会社売却に伴う利益の減少（↓）
- ファインケミカル
  - ・化粧品原料の販売価格の改定（↑）
  - ・原材料価格高騰に伴うファインケミカル製品の原価上昇（↓）
  - ・新工場稼働に伴う減価償却費負担増（↓）

### 3. 主な指標

#### 3-1. 経営目標

	単位	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 見通し
売上高	百万円	336,306	432,778	500,000
営業利益	百万円	12,324	11,670	13,000
ROE	%	6.5%	5.7%	6.0%
売上高純利益率	%	2.8%	2.0%	1.8%
総資産回転率	回	1.2	1.4	1.4
財務レバレッジ	倍	2.0	2.1	2.3
営業キャッシュフロー	百万円	6,340	△26,631	24,500
ROIC	%	4.3%	3.6%	3.6%

#### 3-2. BS項目

	単位	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 見通し
総資産	百万円	292,154	344,506	360,000
運転資本	百万円	89,549	128,157	124,000
自己資本	百万円	145,552	156,225	155,000
有利子負債	百万円	55,217	93,566	100,000
投下資本	百万円	200,770	249,791	255,000
自己資本比率	%	49.8%	45.3%	43.1%
ネットD/Eレシオ	倍	0.30	0.54	0.51

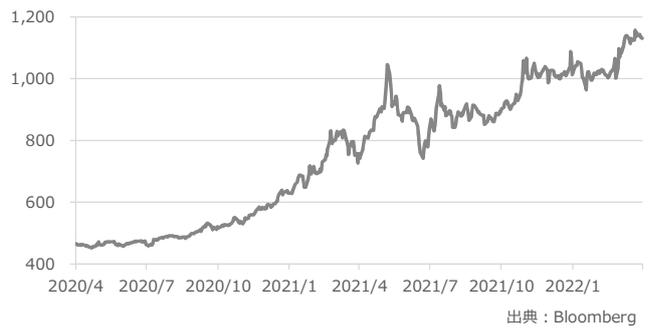
#### 3-3. CF項目

	単位	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 見通し
営業キャッシュフロー	百万円	6,340	△ 26,631	24,500
投資キャッシュフロー	百万円	△ 14,626	△ 9,327	△ 17,000
フリーキャッシュフロー	百万円	△ 8,286	△ 35,958	7,500
財務キャッシュフロー	百万円	△ 5,814	34,473	3,500
CCC	日	97	96	96

■ シカゴ大豆相場  
(¢/bu)



■ ICE菜種相場  
(CAD/t)



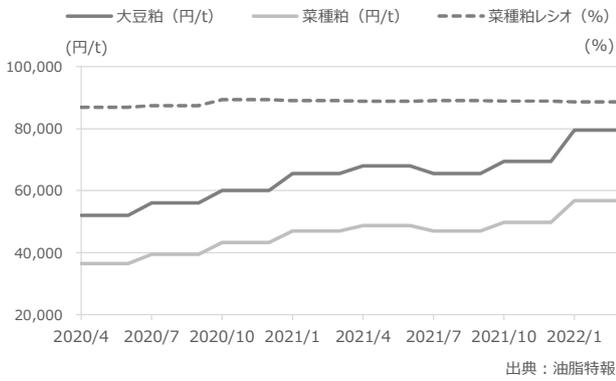
■ バーム原油相場  
(MYR/t)



■ 為替相場 (円/ドル)



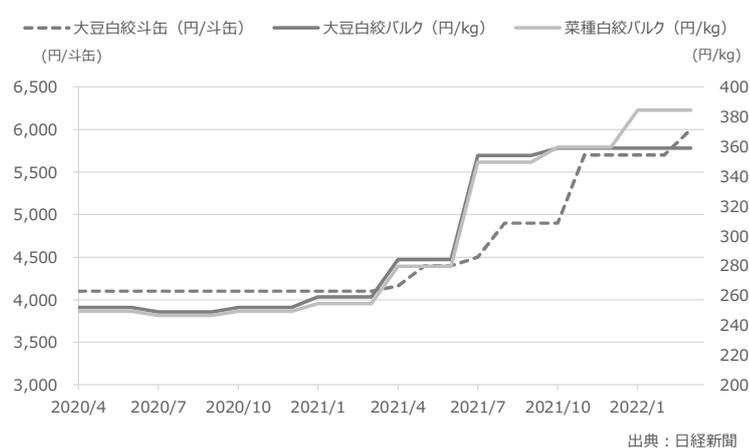
■ ミール業界平均価格



■ ミールバリュー推移

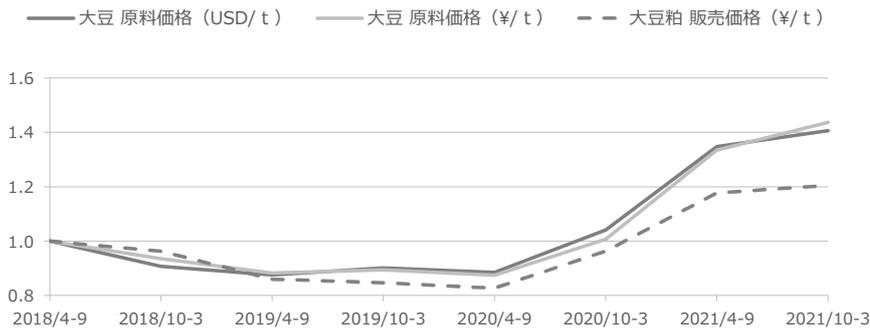


■ 日経市中相場 (業務用斗缶)

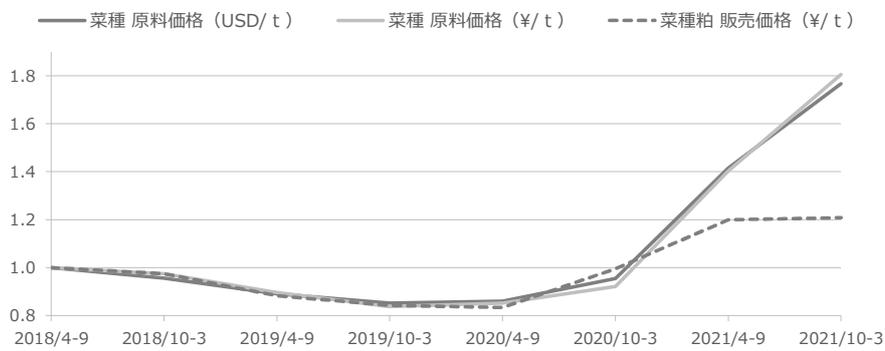


※2018年4-9期を1とした指数  
出典：日清オリオグループ(株)の数値

■ 原料・油粕（大豆）



■ 原料・油粕（菜種）



■ 油脂主要商品の販売価格（ギフトを除く、加重平均単価）

